

# みんなの童話

## たけぼうしをのっけたまもむちゃん



ある日のことです。

あみちゃんは、とってもたいくつしていました。

（何かおもしろいことは、ないかなあ）

あみちゃんは、ふらりと家のうらまわって、ものおきをのぞいてみました。

ものおきには、古いなべとか、ざるやはしなどが、「こちゃこちゃ」と、おいてありました。

あみちゃんが、（つまらない）と思って外にでようとしたとき、たけぼうしが、目にとまりました。（やったー。まじよのほうきじゃん。たけぼうしにのって空をどぶんだ。本にかいてあった）

そう思ったあみちゃんは、たけぼうしを、またいでみました。

あっ。身体がうきました。

ガッタン。ゴットン。たけぼうしは、外にでたそうに動きます。

あみちゃんが、たけぼうしの先を外にむけました。すると、ういて前にすすいと進みます。

おもしろくなつたあみちゃんは、公園へ行きました。友達が、あそんでいました。でも、あみちゃんが、手をふつても友達は、しらんぷりであそんでいます。あみちゃんが、見えないようです。

がっかりしてかえってきたあみちゃんは、たけぼうしをものおきにしまつと、

「おやつ、ちょうだい」

と、お母さんのところへ行きまして。（お母さんに、話そうかな）と思いましたが、

「そういうあぶないことを、するものでないよ」といわれそつなのでやめました。

次の朝、あみちゃんは、たけぼうしのことになりまして。

ものおきへ行くと、たけぼうしは、昨日と同じところに立っていました。

「あみちゃん、あそぼ。あみちゃん、おいで！」

呼ばれたあみちゃんは、ほうきにのって外へでました。昨日よりうまくとべます。今日も公園へ行きました。

カラスたちが、

「カア、カア。早く来いよ」

「今日のごみは、うまいぞ。カア」

と、ごみおきの上をとんでいきます。（ああ。カラスたちが、ちらかすんだわ。困ったことだ）

（カラスたちは、だまっていればかってにごみをあさるわ。そつだ。おもいきって注意してみよう）

と、考えたあみちゃんは、

「カラスくんたち。ごみをちらかしちゃいけないよ。道いっぱいにちらかすから、みんなが困るんだよ。やめなさい！」

と、大きなこえで、いいました。

「なんだ。このなまいきな生きものは？」

「鳥か。鳥にしては羽がない」

「ばけものか？。今ごろまじよはいないはずだ」

カラスたちには、あみちゃんが見えるようです。するどいくちばしで、せめてきました。

あみちゃんは、ほうきをしっかりとにぎると、上にのぼったり、急

に降りたり、横にとんだり、縦にとんでカラスたちを困らせました。

カラスたちも、ほうきをゆすったり、手をつついたり、かおの前をとんでおどしてきました。

はげしくたたかっていると、男の人が、ごみをだしに来て、

「しーっ。しーっ」

と、おいはらいました。

カラスたちは、にげていきまして。カラスたちのさつたあと、あみちゃんは、さくらの木によりかかって、休んでいました。

と、女の人が、ごみをだしに来て「あら。今日もちらかっているわ」

「そついいながら、かたづけ始めました。」

「おはようございます。私もてつだうね」

「あみちゃんは、たけぼうしで、ごみをはきよせました。」

「ありがとね。たすかるわ」

おばさんは、よろこんでくれました。二人で、そつじをしてかたづけました。

家にかえつたあみちゃんは、たけぼうしを、こつそりもとのところへ、かえしておきました。

しろやま会員 かたやま のぶこ